

交流の森



開催日：令和5年10月21日（土）

26名（初参加の一般2名含む）で森づくり活動を行いました。
最初のプログラムは植物観察です。交流の森にはナナミノキやクスノキ、カクレミノ等の木が多いことや、足元にある草花の特徴を学びました。樹木の確認だけでなく、交流の森を訪れた方々にも興味を持って頂けるように、樹名札も付けました。



自己紹介



植物観察



樹名札の取り付け



初伐採の準備作業



常緑樹のアオキの伐採・整理



交流の森のMAP（野外展示物）

初参加者には伐採の方法をレクチャーし、伐採の難しさや楽しさを体験して頂きました。

交流の森には浸食が進んでいる箇所があります。この浸食を少しでも抑えるために、台風で落ちた枝や倒木、伐採木を使って浸食対策を行いました。

秋晴れで小鳥のさえずりが聞こえる林内に一瞬、雨が降りましたが、活動後の林内はスッキリとし、気持ちの良い1日でした。



伐採木で浸食対策



5回参加の方への感謝状授与



お疲れ様でした！